

# モードデザインⅣ

白木 ゆみ香

4年 前期 モード必修 (1単位 実習)

## ■授業の方針・概要

モードデザインⅣでは、モードデザインⅠⅡⅢで学んだデザイン力を元に、卒業時までには学んでおいて欲しいスキルを、総合的に学習します。デッサン力やデザイン力、各種コンテストへも積極的に参加していきます。

この授業では、モードクリエーションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を鍛え、就職活動でも使えるポートフォリオ製作なども併せて指導します。

## ■到達目標（学修成果）

自分の研究テーマやコンセプトに沿ったデザインを、イメージ通りに表現出来る力を身に付ける。企画書を作成できる技術を身につける。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、モードクリエーションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション、人体ポーズ研究	予習：シラバスを読む。	15分
2回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅠ（コンセプトシート作成）	復習：作品課題を完成させる。	60分
3回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅠ（ラフデザイン案）	復習：作品課題を完成させる。	60分
4回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅠ（デザイン画作成）	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
5回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅠ（プレゼン発表）	復習：作品課題を完成させる。	60分
6回	クロッキー（10分程度） TOKYO 新人デザイナー大賞①コンセプトシート作成	復習：作品課題を完成させる。	60分
7回	クロッキー（10分程度） TOKYO 新人デザイナー大賞②ラフデザイン案	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	20分
8回	クロッキー（10分程度）、 TOKYO 新人デザイナー大賞③デザイン画・平絵作成	復習：作品課題を完成させる	60分
9回	クロッキー（10分程度） TOKYO 新人デザイナー大賞④プレゼン発表	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
10回	全国ファッションデザインコンテスト ①コンセプトシート作成	復習：作品課題を完成させる。	60分
11回	全国ファッションデザインコンテスト ②ラフデザイン案	復習：作品課題を完成させる。	60分
12回	全国ファッションデザインコンテスト ③デザイン画作成	予習：プレゼン準備。	60分
13回	全国ファッションデザインコンテスト ④プレゼン発表	復習：作品課題を完成させる。	30分
14回	ポートフォリオ まとめ①	復習：プレゼン準備。	60分
15回	ポートフォリオ まとめ②	予習：プレゼン準備。	60分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室（研究棟1F）まで、指定された日時までに提出のこと。
- ・作品課題の返却は、採点または手直し後、教室にて返却。・試験はなし。
- ・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書 必要に応じてプリント配布。教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

■参考文献 各種PC本。ファッション誌。デザイン本。

## ■オフィスアワー・研究室

【前期】水15:30～17:00【後期】水15:30～17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

■備考 進捗により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

## 卒業制作Ⅰ（モード）①

北折 貴子

4年 前期 モード必修 (4単位 実習)

## ■授業の方針・概要

パターンと縫製の両面から応用の技術を身につけ、卒業制作に向けて創造的な造形、特殊素材、特殊縫製について研究します。研究内容を総合して試作を行い、卒業制作を制作します。実務経験のある特殊パターンの特別演習を行います。

## ■到達目標（学修成果）

テーマやデザインを検討、研究することで、確かな技術と優れた卒業制作作品へ向かうことができます。服を総合的に捉えることができる人材育成と、イメージを形にする造形力を目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目（服飾関係）必修科目として卒業認定に関わる要件科目です。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	デザイナー研究（現在活躍しているデザイナーのデザインとパターンを探る）パターンを描く。	予習：デザイナーとデザインについて調べ、プレゼン用にまとめる。	90分
2回	デザイナー研究・・・グループによる試作によるプレゼン発表を行い講評による評価をする。	復習：講評を受け、卒業制作に生かすべく振り返りを行う。	30分
3回	卒業制作研究テーマについて相談 試作を行う	予習：：研究テーマについて調べ、計画書をまとめる。	120分
4回	卒業制作研究テーマの試作についてプレゼンし、アクティブラーニングを行う。	予習：研究したものを試作し、プレゼン資料をまとめる。	120分
5回	卒業制作1・・・デザイン考案と素材検討 試作の検討を検討する。	予習：デザインにあった素材を探し、試作を行う。	1200分
6回	卒業制作1・・・デザインにあったパターン作成を行う	予習：デザインにあったモデル探し 復習：パターンを完成する。	120分
7回	卒業制作1・・・パターン作成後トワルによる試作作成 実務経験のあるパターンナーによる特殊パターンの演習	復習：トワルを仕上げる。特殊パターンのワークショップ作品を仕上げる。	120分
8回	卒業制作1・・・ボディにおけるトワルによる補正後、デザインを確認し、訂正を行う。	復習：トワルを直し、モデルサイズに調整し直す	120分
9回	卒業制作1・・・モデルによる補正後体型による補正を行う。 ディテールの部分縫い	復習：補正後の製図を直す。 ディテールの部分縫い直し	30分
10回	卒業制作1・・・製図直しと縫製手順検討後、型紙作成 1/5大製図描きについて	復習：型紙を完成する。 副資材を探し、サンプル購入	120分
11回	卒業制作1・・・実物裁断とするし入れ、接着、テープ貼り、部分作成	復習：ディテールをいろいろ試作し検討する。1/5大製図を描く	90分
12回	卒業制作1・・・実物縫製 要項のまとめについて	復習：縫製を進める 要項を描く	120分
13回	卒業制作1・・・実物補正及び縫製 1/5大製図、要項の下書き提出	予習：補正後直しを行い、縫製を行う。	120分
14回	卒業制作1・・・縫製とディテール付け、仕上げ 1/5大まとめ製図と要項下書きを訂正説明返却	復習：縫製の仕上げをする。1/5大まとめ製図と要項下書きを直す	120分
15回	卒業制作1・・・1/5大まとめ製図と要項下書き、1日目プレゼン提出→講評、その後の作品について相談	復習：講評を受け、問題点を振り返り、後期の作品づくりに生かす。	90分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評、作品の返却を行う。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	授業態度（欠席・遅刻も含む）
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%	日常課題提出や完成度
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%	作品の完成度とプレゼン能力
外部評価・検定試験結果	0%	

## ■教科書

ドレメ式原型の教科書各種

## ■参考文献

モード雑誌各種

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー日時は授業初日に伝えます。教室：2401 教室（第2校舎4階）・研究室：研究棟2階 6021

## ■備考

進度により、日程及び内容は変更することがあります

## 卒業制作Ⅰ（モード）②

安部 智子

4年 前期 モード必修 (4単位 実習)

## ■授業の方針・概要

卒業制作は、4年間に学んだすべての知識や技術を総合し、作品を制作する上で重要な要素(デザイン・素材・パターン・テクニックなど)の関連性を十分考え、試作と考察を繰り返し、各自のイメージを服飾造形作品として具現化します。様々な情報や時代性をとらえ、各自の感性と創造性を高めるよう多角的に研究し、研究結果を基に作品制作を行います。完成した作品は、1/5大製図を含めた研究要項にまとめます。また各種コンテストなど、様々な方法で積極的に自分の作品を発表します。

## ■到達目標（学修成果）

パターンや縫製の知識と技術を身につけることで、各自の「イメージ」を的確に「服飾造形作品」としてつくり上げる表現力がつきます。また、作品制作のプロセスを通して、結果の良し悪しを見極める判断ができるようになります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目（服飾関係）必修科目として卒業認定に関わる要件科目です。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	卒業制作の進め方、スケジュールについての説明 研究テーマの検討 課題1 グループワークによる作品制作	春期休業中に卒業制作に関するリサーチを行い、考えをファイルにまとめる	180分
2回	課題1 グループワークによる作品制作 卒業制作 各自制作の方向性を考慮し、研究テーマの検討	作品制作を進め、完成させる。	90分
3回	課題1 グループワークによる作品制作 プレゼンテーション・講評 卒業制作 多角的に検討し、研究テーマを決定する	プレゼンテーションの準備をする 卒業制作の研究テーマに関する資料をまとめる	120分
4回	卒業制作 研究テーマを基に試作を行い検討する→デザイン検討	試作結果をまとめ、ディスカッションの準備をする	90分
5回	卒業制作 デザインを検討→決定 作品1制作 パターン作成	試作を完成させ、ディスカッションの準備をする	90分
6回	卒業制作 作品1制作 パターン作成・点検→トワル作成→補正	パターンを完成させ、トワルを作成する	90分
7回	卒業制作 作品1制作 トワルを検討し、個々の研究テーマに沿って実物作品制作を行う 縫製準備	作品制作を進める	90分
8回	卒業制作 作品1制作 縫製	作品制作を進める	90分
9回	卒業制作 作品1制作 途中経過点検1 作品についてディスカッションをして確認する	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
10回	卒業制作 作品1制作 縫製	作品制作を進める	90分
11回	卒業制作 作品1制作 途中経過点検2 作品についてディスカッションをして確認する	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
12回	卒業制作 作品1制作 縫製	作品制作を進める	90分
13回	卒業制作 作品1制作 最終点検 →完成	最終点検を受け、作品制作を完成させる	90分
14回	卒業制作 作品1 プレゼンテーション・講評 作品2～5についての検討	プレゼンテーションの準備 作品2～5について資料を準備する	120分
15回	作品2～5についての検討 デザイン決定 まとめ	前期の課題を振り返り、後期に向け夏期休業中の課題を検討する。	60分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対しては、講評・ディスカッションを行いフィードバックします。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢（出欠を含む）	30%	原則として出席が授業時数の2/3未満の場合再履修となります。
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%	作品は創作力（イメージをかたちにする力）を重視して採点します。また、提出物が期日までに未了の場合は、再履修となります。
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%	
外部評価・検定試験結果	0%	

## ■教科書 必要に応じ資料を適宜配布

## ■参考文献 ドレメ原型、PATTERN MAKING I II、SEWING I II III IV、基礎テキスト 各種モード雑誌、その他逐次紹介する。

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室： 研究棟3F 6032B

## ■備考 日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。

準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保すること。

## 卒業制作Ⅱ（モード）①

北折 貴子

4年 後期 モード必修 (4単位 実習)

## ■授業の方針・概要

今までに学んだ製図法と縫製技術を生かして、パターン、素材、縫製面において独自の表現方法を研究し、独創的デザインによる作品を制作します。柔軟性のある発想で独創的な作品を作ります。卒業制作発表会に向けて全員が何らかの係を受け持ち、学生同士協議を重ねてより良い卒業制作発表会になるように準備を行います。

## ■到達目標（学修成果）

卒業制作作品発表会でのショーを行い、作品の1/5大製図及び要項をまとめて提出することが必須です。モードクリエーションコース卒業認定の要件科目です。オリジナルデザイン発想と縫製工程の分析、完成度の高い作品制作技術が修得できます。卒業制作発表会に向けてショーを作り上げていく上で協調性、社会適応能力等、精新面の向上も目指します。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目（服飾関係）必修科目として卒業認定に関わる要件科目です。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	前期の作品の講評を踏まえ、各自研究テーマに基づきバリエーション作品のデザインを考案する。	予習：文献等と調べ、デザインを考案する。デザイン画の作成。	120分
2回	卒業制作2～5・・・デザインをもとにパターンを描く	復習：パターンを完成する。	90分
3回	卒業制作2～5・・・トワルによる試作検討	復習：トワルを組み立てる。	120分
4回	卒業制作2～5・・・モデルによる補正	復習：モデル補正後の製図直し。	60分
5回	卒業制作2～5・・・製図直しと縫製手順検討	復習：縫製手順を再検討。	30分
6回	卒業制作2～5・・・ディテールの部分縫い	復習：ディテールをいろいろ試作し、検討する。	90分
7回	卒業制作2～5・・・型紙つくりと実物裁断	復習：型紙を完成させ、生地を裁断する。	120分
8回	卒業制作2～5・・・実物補正と縫製	準備学習：実物補正用の仮組み立てを行う。	120分
9回	卒業制作2～5・・・縫製とディテール付け	復習：ディテールを制作する。	120分
10回	卒業制作2～5・・・仕上げ	復習：縫製の仕上げを行う。	120分
11回	卒業制作2～5・・・全身の装飾等の検討	復習：市場調査を行い、装飾を検討する。	90分
12回	卒業制作2～5・・・1/5大製図仕上げ	復習；1/5大製図を描く。	60分
13回	卒業制作2～5・・・要項仕上げ	復習：要項を仕上げる。	90分
14回	卒業制作1～5・・・縫製確認と縫製直し提出後、すべての作品における5/1大製図、要項を提出し、講評を行う。	復習：縫製の不備を直す。	90分
15回	卒業制作発表会に向けて効果的な発表を検討し、まとめる	復習：発表に向けて装飾を整える。	30分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出物に関しては授業内で講評、作品の返却を行う。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	授業態度（欠席・遅刻も含む）卒業制作発表会に向けて係の協調性と活動等も含める
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%	日常課題提出や完成度
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%	作品の完成度とプレゼン能力
外部評価・検定試験結果	0%	

## ■教科書

ドレメ式原型の教科書各種

## ■参考文献 モード雑誌各種

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー日時は授業初日に伝えます。教室：2401 教室（第2校舎4階）・研究室：研究棟2階 6021

## ■備考

進度により、日程及び内容は変更することがあります。

2月の卒業制作発表会期間にショー形式で作品を発表し、卒業要項と1/5大製図を提出します。

卒業制作ショーに向けて全員で係を担い、協力して作り上げます。

## 卒業制作Ⅱ（モード）②

安部 智子

4年 後期 モード必修 (4単位 実習)

## ■授業の方針・概要

前期で試作・検討したデザイン・素材・パターン・造形テクニックなどの要素を基に、前期で制作した実物作品の制作、またはバリエーション作品の制作を進めます。より完成された作品制作を目指し、感性を磨き創造性を高めることで、各自のオリジナリティを反映した作品の研究を進めます。また、実物作品及び製図を含めた研究要項をまとめます。また、各種コンテストや産学協同のプロジェクトや大学祭にも参加し、積極的に自分の作品を発表します。

## ■到達目標（学修成果）

パターンや縫製の知識と技術を身につけることで、各自の「イメージ」を的確に「服飾造形作品」としてつくり上げる表現力がつきます。また、作品のプレゼンテーションの1つの方法であるファッションショーの運営方法が分かります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエイションコースの卒業認定科目です。また、ディプロマポリシーにおけるコース目標のファッション産業の現場で活躍する人材としての総合力を身につけるための授業です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	卒業制作 作品2～5制作 パターン点検→トワル作成→補正	シラバスを読む 夏期課題を確認し、後期のスケジュールを確認する	60分
2回	卒業制作 作品2～5制作 トワル作成→補正→縫製準備	パターンを完成させ、トワルを作成する	90分
3回	卒業制作 作品2～5制作 縫製	制作を進める	90分
4回	卒業制作 作品2～5制作 縫製	制作を進める	90分
5回	卒業制作 作品2～5制作 途中経過点検1 作品についてディスカッションをして確認する	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
6回	卒業制作 作品2～5制作 縫製	制作を進める	90分
7回	卒業制作 作品2～5制作 縫製	制作を進める	90分
8回	卒業制作 作品2～5制作 途中経過点検2 作品についてディスカッションをして確認する	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
9回	卒業制作 作品2～5制作 縫製	制作を進める	90分
10回	卒業制作 作品2～5制作 縫製	制作を進める	90分
11回	卒業制作 作品2～5制作 最終点検 →完成	最終点検を受け、作品制作を完成させる	90分
12回	卒業制作研究要項執筆 1/5 大製図をまとめる→点検	卒業制作研究要項の資料を準備し、下書きを進める	90分
13回	卒業制作研究要項執筆 研究要項の執筆→点検→清書	点検を受け、卒業制作研究要項をまとめる	90分
14回	卒業制作研究要項を完成させ、提出する 卒業制作発表準備 ショー構成を検討する	アクセサリーなどの付属品を確認する	60分
15回	まとめ プレゼンテーション・講評	卒業制作作品を総合的に考察する プレゼンテーションの準備	90分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対しては、講評・ディスカッションを行いフィードバックします。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢（出欠を含む）	30%	原則として出席が授業時数の2/3未満の場合再履修となります。
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%	作品は創作力（イメージをかたちにする力）を重視して採点します。また、提出物が期日までに未了の場合は、再履修となります。
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%	
外部評価・検定試験結果	0%	

## ■教科書 必要に応じ資料を適宜配布

## ■参考文献

ドレメ原型、PATTERN MAKING I II、SEWING I II III、ドレメファッション造形講座1～7  
各種モード雑誌、その他逐次紹介する。

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。 研究室：研究棟3F 6032B

## ■備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。

準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保すること。